



共生社会の実現に向けて

三重県知事 一 見 勝 之



あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、良き新年を
お迎えのこととお慶び申し上げます。

県では、令和6年3月に「障がいの有無によって
分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重
し合いながら共生する社会の実現」を基本理念とす
る、「みえ障がい者共生社会づくりプラン-2024年度
～2026年度-」を策定しました。プランに基づき、障
がいを理由とする差別の解消、権利擁護の推進、特
別支援教育の充実、障がい者就労の促進などに総
合的に取り組んでいるところです。

令和6年4月に「障害を理由とする差別の解消の

推進に関する法律」が改正され、事業者による合理
的配慮の提供が義務化されたことを契機に、法の趣
旨や具体的な配慮事例の周知・啓発及び事業者へ
の助言など、共生社会の実現に向けた取組を強化し
ています。

今後も、障がい者の権利擁護や、社会参加の促
進、地域生活の支援など、さまざまな障がい者施策
を推進してまいりますので、ご理解とご協力を賜り
ますようお願い申し上げます。

本年の皆様のご多幸とご活躍を心よりお祈りいた
します。

新年のごあいさつ

公益社団法人 三重県障害者団体連合会 会長 片 岡 福 生



あけましておめでとうございます。
皆様には、健やかに新年をお迎えの
ことと、お慶び申し上げます。

日頃は、三重県内の障害者団体の活動にご理解、
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年、当連
合会では、11月に鈴鹿市で第71回三重県身体障害
者福祉大会を開催し、12月に三重県総合文化セン
ターで、令和7年度三重県障がい者芸術文化祭作
品展を開催いたしました。毎年、出展作品が増え、
ひとえに皆様のご協力のおかげと感謝しております。
その他の活動としまして、スポーツ教室や、自動
車安全運転競技会など、たくさんの事業を開催さ
せていただきました。関係者の皆様には、大変お世話
になり、感謝申し上げます。

さて、障害者差別解消法の改正により、令和6年
4月から事業者による合理的配慮の提供が義務化さ
れ、国、県、市町では、共生社会の実現に向け様々
な施策が進められています。

このような時こそ、障がいのある私たち自身が、国、
県、市町の制度や施策への理解を深め、障がい者の
権利擁護のために組織力を維持し、行政や社会と連
携して活動を展開していきたいと考えています。

また、令和8年度も各種スポーツ教室、生活安全
教室、ふれあい交流事業、相談員研修などを開催し、
相互の親睦と健康維持に努めていきたいと思ってお
ります。各市町の皆様の多くの参加をお願いいたし
ます。

三重県障がい者芸術文化活動支援センターの活
動として、5年目となる「みえアールブリュット」を、
1月29日～2月1日にハヤシユナイテッド文化ホール
鈴鹿（鈴鹿市文化会館）、2月19日～22日に、志摩
市阿児アリーナで開催します。ぜひご覧ください。
（詳細はHP <https://mie-asc.jp> で）

結びに、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し
上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春のお慶びを申し上げます

三重県知的障害者育成会

障害福祉と権利擁護はこれからどうなるのか…
思いを残して…

知的障害のある方々が自ら声をあげられる世の中になって、福祉制度だけではなく様々な支援体制が出来上がってきました。

成年後見制度もワントimeでいいという当事者の声から制度の見直しに着手され、新しい体制になってくるのだろうな〜と期待半分、危惧半分のところです。

『知恵遅れ』から『精神薄弱』と障害の名称が変遷してきても、育成会が当事者に代わって声を上げてきた歴史は、社会の厳しい視線に晒されてきた昭和の時代から今の令和の時代にあっても、我が子を残して鬼籍に入ることが必然の親の身として変わらない思いがあります。

そのうえで、少しずつ手を離して親亡き後を危惧ではなく、安心して手を離していけると実感することはそう簡単なことではないでしょう。

思いもよらない出来事で我が子を亡くした私にとって、考え抜いた安心安全の支援プランをせめて一度でも実施できていたらという思いは、いまだにぬぐえません。

成年後見制度や日常生活自立支援事業など、色々な再検討が加えられて時代にマッチするものに変遷していくことがこの目で見られる昨今、今、我が子が生きていたらどのような顔をして喜んでくれただろうかと思うこともあります。

制度は、時代が進めばその時代時代にマッチしたものに転換して充実していくものだから、その制度や支援によって知的障害の方々の笑顔が増えることを切実に祈って私の育成会活動は、今期か伊勢での東海北陸大会をもって、終了したいと考えています。

その後も、育成会は連綿と続いて発展していくものと思います。

彼の方の言葉をもじって"育成会是不滅です"と願いを込めて会の運営を整理しているところです。

長年にわたってご厚誼いただきありがとうございます。

理事長 高鶴 かほる

事務局 ☎ 059-225-3930 FAX 059-225-3935

E-mail: oyanokai@eos.ocn.ne.jp

HP <http://www.mie-ikuseikai.sakura.ne.jp>

三重県精神保健福祉会

何をなすべきか？

先日、障がい者の避難所を「コーディネート」するボランティアの方が見えました。

家族・当事者の意見（要望？）を聞きたいとのこと。

大きな災害（「阪神・淡路」「東日本」など）で起きた避難所での障がい者にかかわるトラブルの大半は「障害の個性」について知られていないことから起きています。

一般市民に、精神・知的・身体障害が認知されているか否かです。

特に、外見だけでは見分けがつかない精神障がい者は、「怠け者？」にみられやすいからです。

大人の市民の9割を超える方が、精神障がい者と接したことがない現実の中で、突然に起きた災害避難所の中だけ、精神障がい者に「配慮」が行き届くことはないといえます。

これは知的障がい者、身体障がい者も同じと推定されます。

地域での文化祭・体育祭・盆踊りなどのイベントに障がい者が参加しやすい席（居場所）を設けたりして交流できるようにすること。

社会復帰支援事業所が地域内の小学生・中学生と交流することで、大人になっても普通に接する土壌が生まれます。

精神障がいに対する偏見・差別が存在する中で、小学生が精神障がい者施設と交流することに「異を唱える」方もあると思いますが…。

県内でも実績があります。

四日市市内のある作業所が数年にわたって、小学校高学年のクラスと交流しました。作業所を見学して、作業体験をしたり、当事者のパフォーマンス（お芝居）を見たり、また学校では一緒にバレーボールなどをして交流しました。その児童たちが、中学・高校に進んでからも時折、作業所を覗いてくれました。

小学生との交流は、その後、いろいろな理由から、途絶えておりますが…。

このような交流が恒常的に継続され、障がい者に対する理解が定着していくなら、避難所における対応も大きく緩和されると考えています。

障がい者に対する誤解・偏見・差別は、「知らない」ことから生まれているといわれています。

私たちはこれからも「交流」の機会を粘り強く作っ

ていきたいと思っています。

是非、お近くの障がい者施設を気軽に覗いてください。

2026年は秋(10～11月)に津市で「交流・研修」イベントを開催します。

100人以上の当事者も参加します。是非、ご来場ください。

NPO法人 三重県精神保健福祉会(さんかれん)

理事長 山本武之

事務局 ☎・FAX 059-271-5808

E-mail:sankaren@mint.or.jp

三重県視覚障害者協会

新年を迎え、皆さまにおかれましては、健やかに
お過ごしのことと心からお慶び申し上げます。

平素は、三重県視覚障害者協会(以下「協会」
と表記)の活動につきまして、深いご理解と温かい
ご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げま
す。

当協会では、去年は、グラウンドゴルフ、ボウリ
ングなどの教室を開催するほか、パソコンを通じて
視覚障がい者の交流を促進する情報部や女性部、ス
ポーツ部(グラウンドソフトボール・フロアーバレー
ボール、サウンドテーブルテニス)の活動が活発に
展開されました。また、視覚障がい者の外出時にお
ける安全・安心な移動を確保するためのガイドヘル
パーの人材確保、分け隔てなく積極的に視覚障がい
者の採用を求める職域の拡大、医療機関等でマイナ
保険証を利用する際等の情報アクセシビリティの向
上、鉄道駅の無人化や交差点の安全対策、各種災
害に備えるために視覚障がい者が利用できるハザード
マップの作成など社会的課題の解決に向け、行政
等に対し要望活動を行いました。

また、県内の視覚障がい者が、より円滑に日常生
活が営まれるよう、三重県から三重県視覚障害者支
援センター(以下「支援センター」と表記)指定管
理者として指定を受けており、支援センターにおい
ては、点訳・音訳図書の製作・貸出を行うほか、生
活訓練事業として、白杖を使用した歩行訓練、家事
管理訓練、福祉機器活用訓練、日常生活用具の使
い方指導を実施しています。さらに、ICTサポート
事業の実施、ボランティア養成講座を開設するほか、
情報支援事業として情報誌を月1回発行しています。
養成講座を受講した点訳・音訳ボランティアは、ほ
ぼ毎日、支援センターに集いグループ活動を行って
います。上記の活動につきましては、当協会並びに

支援センターのホームページをご覧くださいと
存じます。

今後も視覚障がい者の方々のご要望に応えられる
よう、日々努力を重ねてまいりますので、ご支援いた
だきますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして、実り多き
年になりますよう、心から祈念申し上げまして、新年
のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会

三重県視覚障害者支援センター

〒514-0003 津市桜橋二丁目130番地

☎ 059-228-3463 FAX 059-228-8425

E-mail:center@mieten.jp

* ☎・FAX・Emailは協会、センター共用

協会 URL www.mie-shikaku.net

センター URL www.mieten.jp

三重県聴覚障害者協会

当協会にとって、2025年度(2025年4月～2025
年12月)で、特筆すべきことは、「東京2025デフリ
ンピック(11月15～26日)」です。日本初開催とな
る大会を盛り上げるため全国を巡回しているキャラバ
ンカー(主催:全日本ろうあ連盟)が、10月10日
(金)に三重県入りをし、11日(土)～15日(水)
には、「東京2025デフリンピック全国キャラバンカー」
によるイベントを各地訪問先で開催しました。11月
15日(土)～17日(月)の3日間にわたっては当協
会の旅行企画として「東京2025デフリンピック観戦」
を実施し、38名(会員23名、賛助会員15名)が参
加しました。これまでと違い、今回は付添員なしで
の移動が1番気がかりでしたが、無事に終わりホッと
しました。デフリンピックをきっかけに障がいの有無
に関らず誰もがスポーツを楽しめるという理解が深
まったように思いました。

他の事業については下記のとおり実施できました。

5月11日(日)

「第78回三重県聴覚障害者福祉大会」(四日市)

「第1回通常総会」(四日市)

5月25日(日)

文化事業部「国際手話&スマホ講習会」(津)

5月28日(水)

高齢部「茶話会&勉強会」(津)

6月1日(日)

体育部「スポーツ交流会2025」(津)

6月29日(日)

女性部「2025みえデフ女性のつどい」(津)

7月 6日(日)

三重県手話通訳問題研究会合同企画「三重県手話通訳問題研究討論集会」(伊勢)

7月13日(日)

組織部「全国評議員会の報告」(津)

7月13日(日)

文化事業部「カナダろう者交流会」(津)

7月19～20日(土～日)

東海女性部「東海幹部研修会・討論会」(津)

8月10日(日)

デフリンピック啓発「全国JCサッカー選手権大会
東海ブロック大会」(東員)

デフリンピック啓発「アソボ・マナボ・タノシソウブ
ン」(津)

8月24日(日)

デフリンピック啓発「つなげよう!デフリンピックの
輪・手話言語の輪・人々の輪」(東員)

8月30日(土)

社会福祉部「労働サロン」(津)

9月13日(土)

女性部「ツインアーチ138へ行こう!」(一宮市)

9月16日(火)

高齢部「茶話会&敬老会」(津)

9月23日(火・祝)

「手話まつり2025」(津)

10月5日(日)

三重県手話サークル連絡協議会合同「合同企画
2025」(津)

10月11～15日(土～水)

デフリンピック啓発「東京2025デフリンピック全国
キャラバンカー」(県内)

10月26日(日)

「みみフェスティバル2025」(鈴鹿)

11月15～17日(土～月)

旅行企画「デフリンピック観戦」(東京)

12月15日(月)

高齢部「クリスマス会&茶話会」(津)

当協会の正会員数は2024年度の291名と比べ、3年連続の減少で276名となりました。賛助会員数も昨年度より21名減の160名(12月10日現在)です。当協会では、この要因を、会員の関心の変化や、高齢化、運営のマンネリ化、情報提供価値の低下、コミュニケーション不足と分析しています。機関紙やSNSなどを通じて、会員であることの具体的なメリットを明確に伝え、満足度向上と新規加入を促すように考えています。時代の変化に合わせた新しいイベント、限定コンテンツ、会員同士の交流機会などを

設けるよう工夫しようと思っています。

各担当が活動を見直す中で、今後は慎重な選択と新たな挑戦の両立を模索することになるでしょう。さまざまな壁に対し、関係団体の皆さまや先輩方に教えていただいたことを節目節目の教訓として、どのような困難も乗り越えていこうと思っています。

そして、これから先の10年、20年、さらにその先の未来に向けて、きこえない同士がしっかりと絆を深め、お互いに協力し、情報を共有しながら、あらゆる課題に立ち向かっていく協会でありたいという思いを強くしております。

今後とも皆さまからの更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330

E-mail:deaf.mie@viola.ocn.ne.jp

HP <https://www.deafmie.com>

三重県知的障害者福祉協会

あけましておめでとうございます。

旧年中は、当協会の活動に多大なご指導、ご支援を頂きありがとうございました。本年も、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

さて、ご承知のように、近年、物価高騰が著しく、各協会におかれましても、事業所の経営環境は厳しさを増しているのではないのでしょうか。このことは、昨年、また、本年4月に、日本知的障害者福祉協会をはじめとする障害福祉団体が共同し、障害福祉現場における賃上げや物価高騰等の調査を実施し、その結果として、国への要望活動を行いました。当協会としましても、昨年11月に、三重県選出の自民党国会議員の先生方に要望活動を行いました。障害者の方々のニーズに応じた質の高い支援を行うには、職員の処遇改善と事業所の経営改善が不可欠であり、こうした要望活動を今後も障害福祉団体の皆様とともに、引き続き行っていければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、当協会としましては、本年度も、利用者の皆様の交流事業を開催し、大道芸人や三重高校ダンス部の方々に出演いただき、楽しいひと時を過ごしました。また、職員の資質向上と交流を目的に研修会を開催しました。

今後も、直面する課題を乗り越えていくために、皆様のご指導よろしくお願いいたします。

会長 山野 文照

事務局 ☎ 059-268-1115 (まもり苑・本弘)

三重喉友会

あけましておめでとうございます。

旧年中は、当会の活動に多大なご指導、ご支援を賜り有難うございました。本年もよろしくお願い申し上げます。

「三重喉友会」は、喉頭がん、食道がん等で声を失った方々が組織する団体です。

当会は創立71年目になります。声を失った方々が互いに助け合い発声訓練を通して、コミュニケーションに必要な新たな声を与えられ、日常会話が出来るようになり、社会復帰と会員相互の親睦・交流を図っています。

喉頭摘出という試練を乗り越え活動し、前向きに進み行こうとしています。

このような患者会は全国にあり、当会もNPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報交換しながら協力しています。

また、医学の進歩も著しく放射線や抗がん剤治療により、手術される方も減少しております。

●発声教室

今年の発声教室は2か所で開校しています。

・中勢地区

三重大学医学部附属病院 外来棟5階会議室
毎月第3木曜日 10時～12時
インターネット（ZOOM）による教室

・南勢地区

伊勢赤十字病院 山田ホール
第2木曜日 10時～12時

●研修会

- ・発声指導員養成のための研修会が、毎年10月に三日間行われ一般会員の方も参加しています。
- ・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

●総会（発声教室、研修会）

5月中旬 三重大学医学部附属病院
発声訓練の成果として「発声コンクール」を行います。

●一泊研修旅行 未定

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール（カラオケ大会）も行っています。

●三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。
※発声の事や健康相談等は事務局までご連絡下さい。

事務局 ☎・FAX 090-1474-7858（松井 直之）

Eメール n-matsui@ma.mctv.ne.jp

三重喉友会会長 塚本明雄 ☎ 090-3511-0350

三重県脊髄損傷者協会

「大阪・関西万博を車いすで訪れて」

9月の3連休明け、介助者と二人で大阪・関西万博を訪れました。11時に入場し夕方まで過ごしましたが、30度を超える暑さの中での移動は想像以上に体力を使う一日となりました。それでも、事前に車いす仲間から駐車場やチケット予約の方法を教えてもらい、SNSなどで会場情報をしっかり収集していたおかげで、安心して出かけることができました。

会場近くの駐車場に車を止め、専用シャトルバスで約10分。車いす利用者向けの専用ゲートからは一般入場よりも待ち時間が短く、スムーズに入場できました。しかし、平日にもかかわらず来場者は20万人を超えており、人気パビリオンには長蛇の列ができていました。中には2時間半待ちの場所もあり、混雑の激しさに驚かされました。それでも、いくつかのパビリオンには優先レーンが設けられており、障がい者やベビーカー利用者への配慮が感じられました。

一方で、レストランや売店はどこも長い行列が続き、昼食を確保するのに苦労しました。会場が広いと移動だけでも体力を使う中、食事の確保が難しい点は改善の余地があると感じました。

夕方にはサンセットを見るため大屋根リングへ向かいましたが、上段へ続くスロープは大渋滞。車いすでの移動は大変でしたが、リングから眺めた夕日はその苦労を忘れさせてくれるほど美しいものでした。大屋根リングの専用エレベーターも車いすやベビーカー利用者の行列で長い時間かかりました。介助者以外の同行者は階段を利用するなど、周囲の協力があればよりスムーズに移動できたのではないかと感じました。

会場全体はユニバーサルデザインが徹底されており、広さゆえの体力的な負担はあったものの、車いすで困る場面はほとんどありませんでした。事前準備と周囲の配慮のおかげで、安心して万博を楽しむことができた一日でした。

事務局 ☎ 059-386-9733（松田）



三重難病連

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

三重難病連は現在22の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

2月のRDD（世界希少・難治性疾患の日）に合わせ、難病による障がい者の方やその家族、地域住民等を対象としたイベントを実施しております。

また、津駅と各保健所窓口でティッシュを配る予定もしております。

このイベントが難病患者と社会や地域住民とをつなぐ架け橋となり、希少・難治性疾患の認知度向上になることを期待しております。

●疾患別相談（毎週火・木曜10時～16時）

三重難病連に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩みや、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問合せ、またはホームページでご確認下さい。

●就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4水曜日10時～16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。
※都合により時間を変更する場合がございます。

●小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。

☎ 059-223-5046

【三重県難病相談支援センター】☎ 059-223-5035

<http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/>

三重県身体障害者総合福祉センター

本年もよろしくお願いいたします。

指定管理者として、「身体障害者福祉センターA型」と「障害者支援施設」を運営しています。

身体障害者福祉センターA型では、各種相談、介護保険・医療保険によるリハビリテーションの実施、

福祉用具や自助具の普及促進・相談、障がい者スポーツの推進などを行っています。最新情報の提供や人材交流の場となる福祉用具に関するセミナーやフォーラムを開催し、また、センター内の常設展示場では様々な福祉用具を展示しており、見学や体験をしていただくことができます。

障がい者スポーツ推進につきましては、令和7年10月25日から3日間開催されました全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ2025」に、三重県選手団として、選手・役員87名を派遣し、個人競技では25個のメダルを獲得することができました。他県の選手との交流や運営スタッフ・ボランティアの笑顔や優しさに触れ、楽しく充実した期間を過ごすことができ、選手にとって思い出に残る大変貴重な経験になりました。令和8年度は青森県で開催されます。

障害者支援施設（生活援助棟）では、身体に障がいがある方、高次脳機能障がいがある方、難病の方に対して、障害福祉サービスを提供しています。機能訓練、就労支援や自動車の運転再開支援等、社会復帰を目指す方への支援を行っています。

在宅での生活に不自由を感じている方や社会参加を希望されている方、自立のためにリハビリテーションを希望される方はお気軽にご相談ください。また、高次脳機能障がいに関しての困りごと・お悩みについては、担当の相談員がご相談をお受けしています。

来年度から、大規模改修工事が実施されます。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

【お問い合わせ】（代表）電話：059-231-0155

FAX：059-231-0356

（障害者支援施設）電話：059-231-0037

FAX：059-231-0589



三重県立特別支援学校長会

旧年中は、本県の特別支援学校の教育活動に、ご支援ご協力を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

思い返せば昨年は、報道等で大きく取り上げられたためご承知のことと存じますが、他県で教員による盗撮事案が発生し、学校の信頼が大きく損なわれることとなりました。このことを受けて、三重県教育委

員会は各学校に対して、「県立学校における教職員による児童生徒の撮影等に係る適切な取り扱いについて」を通知するとともに、児童生徒の撮影等に係る取扱いや日常的な環境整備・点検、コンプライアンスミーティングの実施など、盗撮防止に向けた具体的な対策を示しました。三重県立特別支援学校長会（特長会）としても、このことを重く受け止め、各特別支援学校の状況を共有するとともに、対応について検討を進めてきました。児童生徒のその瞬間の笑顔や頑張る姿などを記録して、保護者の方に伝える手段であった撮影という行為が、このような形で信頼を失うことになってしまったことは、私たちにとっても非常に残念であり、とても強い憤りを感じています。しかしながら、今回のことを自分たちの普段の言動を振り返る大切な機会ととらえ、見直しを図り、これからも安全・安心な学校であるよう取組を進めていきたいと考えております。

また、特長会では特別支援学校PTA連合会（特P連）と連携して南海トラフ地震への備えについても検討しています。これまで協議してきた防災対策の内容を踏まえて、今年度も12月に特P連と特長会が県福祉部局と意見交換をする場を持ち、テーマの一つとして取り上げ、「避難所の過ごし方、避難生活における課題」「要支援者の把握や個別避難計画の作成」について具体的な心配ごとなどを担当者に伝え、今後に向けて要望させていただいたところです。いつ起きるか分からない災害であることを踏まえて、可能な限り想定して備えを進めることができるよう、引き続き関係機関等と課題を共有し協議していきます。

その他にも、教員不足が深刻化しており、全国的な教職志望者が減少して教員確保がますます厳しい状況となっています。このことは本県でも同様であり、各学校現場はその対応にたいへん苦慮しています。とくに、特別支援学校では個々の児童生徒の実態に応じた教育を進める上で、専門性も含めた教員の確保が必要です。児童生徒の思いを大切に、一人ひとりの実態を適切に把握したうえでの障がいの状況に応じた支援とともに、学びの連続性を踏まえた各教科等の指導力、一人一台端末などICTの活用能力、特別支援教育のセンター的機能を果たすための専門性などの育成が必要です。加えて、看護師や理学療法士など専門職種の配置など、さらなる体制の充実も必要です。特長会では、現場の立場から県教育委員会に積極的に意見を述べ、話し合うことを通じて、これからの特別支援教育が一層推進されるよう取り組んでまいります。

これらのことは、学校現場だけで対応するには非常に大きな課題であり、様々な関係団体や関係機関の皆様との連携・協力によって、解決に向けて進んでいくことができるものと考えております。本会の取組をご理解いただき、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県立特別支援学校西日野にじ学園

☎ 059-322-2558（早津 俊一）

独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

三重障害者職業センター

- ① 一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適應するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。
- ② 事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。
- ③ 障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町 327-1

（ハローワーク津 3階）

☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707



ホームページは
こちら

高齢・障害者業務課

- ① 事業主の方に対しては、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告申請書・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。
- ② 障害者雇用への理解を広げるため、三重県・三重労働局の共催のもと「三重県障害者技能競技大会（アビリンピックみえ）」を開催しています。

【お問合せ】津市島崎町 327-1

（ハローワーク津 2階）

☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270



ホームページは
こちら

令和7年度三重県障がい者芸術文化祭 作品展

～あふれる感動 はじける元気 芸術は最高!～

12月12日（金）～12月14日（日）三重県総合文化センター文化会館棟に於いて、「三重県障がい者芸術文化祭 作品展」が開催され、県内各地より1,796名の来場がありました。それぞれに表情豊かな作品は総合計722点にもなり、個人の作品は絵画287点、写真31点、書道35点、陶芸15点、手芸76点、工芸68点、俳句18点、貼り絵・その他147点の計677点集まりました。制作の楽しさが伝わってくる共同作品は27点、パネルを大きく使った県立特別支援学校全18校展示は華やかで見応えがありました。表彰式は、ウェルカムピアノコンサートの時間からたくさんの方にお越しいただき、



<https://mie-asc.jp>

盛大に執り行われました。「素晴らしい作品展ですね」という感想も多数寄せられ、感動あふれる3日間となりました。1月31日（土）開催のステージ発表も引き続き皆様のお力添えをいただき、盛り上げていきたいと思ひます。

※文化祭の様子は、上記の三重県障がい者芸術文化活動支援センターのホームページから閲覧することが出来ます。

サブタイトル

～あふれる感動 はじける元気 芸術は最高!～



会場



表彰式



作品展会場



三重県知事賞



絵画
イルカ



写真
外出する喜び



書道
楽（たのしい）



陶芸
麒麟



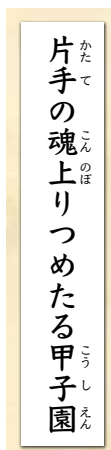
手芸
ボンボン



工芸
くるくるくる



貼り絵・その他
花火



俳句

特別支援学校
の作品



共同
作品



令和7年度 三重県障がい者芸術文化祭 受賞者一覧

賞	部 門	氏 名	作品名（俳句）	所属等又は市町名
三重県知事賞	絵 画	菅尾 博司	イルカ	社会福祉法人名張育成会 ワークプレイス栞 アトリエ彩
	写 真	中嶋 宏行	外出する喜び	津市身障者福祉連合会 津支部
	書 道	吉川 旭	楽	生活介護センター NEIRO
	陶 芸	世古 卓也	麒麟	社会福祉法人ベテスタ障害者支援施設こいしらの里
	手 芸	坂口 陽子	ボンボン	社会福祉法人維雅生育会 上野ひまわり作業所
	工 芸	市川 翔太	くるくるくる	生活介護事業所 ふらま
	俳 句	福本 紀昭	片手の魂 上りつめたる 甲子園	伊賀市障害者福祉連盟
	貼り絵・その他	諸戸 隆輝	花火	社会福祉法人あゆみ 生活介護事業所あゆみ
三重県議会議員賞	絵 画	大西 裕次	遊泳	NPO 法人 工房ゆう
	写 真	駒田 友章	ななめせかい	障がい者福祉サービス事業所 でんでん
	書 道	神野 魁	今	亀山市
	陶 芸	永田 実	ペンギン	社会福祉法人ベテスタ障害者支援施設こいしらの里
	手 芸	増岡 沙織	カラフル	ふっくりあホイスコーレ
	工 芸	中村 勝	パノラマカー	三重県身体障害者総合福祉センター
	俳 句	白藤 弘子	鳥渡る 内戦の子の 写真集	津市身障者福祉連合会 津支部
	貼り絵・その他	辻岡 大介	ゆうすげの丘	社会福祉法人 まほろばの里 多機能事業所 上野作業所
実行委員会賞	絵 画	宮河 健介	トロピカリズム	三重県身体障害者総合福祉センター
	写 真	東山 仁輝	コスモスとぼく	障がい者福祉サービス事業所 でんでん
	書 道	宮崎 靖子	新しい挑戦	松阪厚生病院 デイケア
	陶 芸	堂東 信子	カエルの水盤	松阪市障害者福祉センター
	手 芸	カサブランカ	日傘	NPO 法人 工房ゆう
	工 芸	非 公 開	十一面観音菩薩像	非公開
	俳 句	瀬川 令子	流木に残る潮騒昼の月	大台町障害者福祉会
	貼り絵・その他	伊藤 寛市	太陽と月	生活介護サービス あゆか
きらめき新人賞	絵 画	山本 勇雅	八野就労大集合！	社会福祉法人 伊勢亀鈴会 八野就労支援センター
	写 真	三宅 悠斗	ぼくのすきな電車いっぱい	生活介護事業所 ふらま
	書 道	中嶋 惇人	ぼくの夢	洗心福祉会 きらめき工房あおやま
	陶 芸	早川 旺助	大すきなバス	三重大学教育学部附属特別支援学校
	手 芸	高橋 侑大	どうぶついっぱい	生活介護事業所 ふらま
	工 芸	草野 結登	シゴドラ	こどもサポート教室「きらり」新鈴鹿校
	俳 句	西沢 博子	襟巻と 小さな義足 遺さるる	津市
	貼り絵・その他	清水 景子	私の手の中で	社会福祉法人あゆみ 生活介護事業所あゆみ
奨励賞	絵 画	宮本 忠彦	夢見る乙女 オムライスを見る	社会福祉法人おおすぎ 障害者支援施設 れんげの里
	絵 画	田中 成佳	こいとあそぼう	きれいサポートステーション
	絵 画	大西 隆次	華	NPO 法人 工房ゆう
	写 真	植田 弘子	愛のささやき	津市身障者福祉連合会 美杉支部
	書 道	植村 浩則	花	まんまんらい
	陶 芸	鈴木 克彦	桃太郎と仲間たち	洗心福祉会 きらめき工房いが
	手 芸	東 愛梨	かぞくのために	NPO 法人 工房ゆう
	工 芸	河村 美幸	ゴー ジャスナ雪の結晶	おおさか作業所
	俳 句	大橋 京子	伊勢詣 玉じゃり痛し 車いす	名張市
	貼り絵・その他	小林 蒼朋	ぼくの友だち	三重県立特別支援学校 伊賀つばさ学園
	貼り絵・その他	石田 明梨	友達、大好き	生活介護事業所 かしの木
	サブタイトル賞	池田 みゆき	あふれる感動 はじける元気 芸術は最高！	松阪市

令和8年 三重県交通安全県民運動

三重県交通安全県民運動スローガン

やさしさが 安全つなぐ 三重の道
～歩行者の ハンドサインは 赤信号～

年間重点目標

- (1) こどもと高齢者の交通事故防止
- (2) 横断歩道における歩行者優先の徹底
- (3) 歩行者の交通ルール遵守の徹底
- (4) シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (5) 飲酒運転をはじめとする悪質・危険な運転の根絶
- (6) 自転車・特定小型原動機付自転車に関する交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進
- (7) 夕暮れ時又は天候に応じた早めのライト点灯の推進
- (8) 反射材用品の普及促進

期間を定めて行う運動

◆年間運動

思いやりとゆずりあいでの交通事故をなくす年間運動

◆各季運動等

春の全国交通安全運動 4月 6日(月)～ 4月 15日(水)
夏の交通安全県民運動 7月 11日(土)～ 7月 20日(月)
秋の全国交通安全運動 9月 21日(月)～ 9月 30日(水)
年末の交通安全県民運動 12月 1日(火)～ 12月 10日(木)
夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン運動
10月 1日(木)～ 12月 31日(木)

◆日を定めて行う運動

交通事故死ゼロを目指す日

全国交通安全運動期間中に実施予定

交通安全の日 毎月 11日

高齢者交通安全の日（セーフティー・シルバー・デー）

毎月 15日（S・Sデー）

自転車安全対策強化日（セーフティー・バイシクル・デー）

毎月第一月曜日（S・Bデー）

三重県飲酒運転^{ゼロ}をめざす推進運動の日 12月 1日

開催報告

「コミュニティダンスワークショップ」in 熊野市

令和7年11月11日（火）13時00分～15時00分、熊野の宿 海ひかり 2F宴会場・夕風にて、コミュニティダンスワークショップを開催しました。障がいのある方とのダンス事業に実績のある愛知県障害者芸術文化活動支援センター（あしょげぶセンター）の協力を得て、ダンスセラピストのクレア・アペルト（Clare Apelt）氏を講師にお迎えし、障がいの有無を問わず誰でも参加できるダンスイベントとして参加者を募集しました。

参加してくださったのは、障がい者施設の利用者の方と支援者の方、熊野市・紀宝町・大紀町の障がい者団体のみなさん、熊野市役所・県障がい福祉課等の行政職員の方など40名。

ワークショップでは、高齢の方や車いすの方などの参加者に合わせて、椅子に座り上半身や手を使うダンスを行ったり、参加者の好みに合わせた曲でリラックスした雰囲気の中、一人一人リーダーを交代しながら、普段しないような体の動きや頭を使いながらダンスを行ったりして気軽にダンスを体験しました。通訳を交えながら講師とも打ち解け、参加者同士の交流もあり「とても楽しかった」「やったことがない活動だったので新鮮だった」等の声が聞かれ、満足度の高いワークショップとなりました。



市町別手帳交付者数

（身障・療育：令和7年4月1日現在、精神：令和7年3月31日現在）（単位：人）

市町名	身障手帳	療育手帳	精神保健福祉手帳	市町名	身障手帳	療育手帳	精神保健福祉手帳
津市	10428	2899	3561	東員町	803	202	216
四日市市	9228	2878	3809	菰野町	1241	399	364
伊勢市	4964	1060	1310	朝日町	247	91	92
松阪市	6053	1632	1863	川越町	374	131	160
桑名市	4284	1234	1795	多気町	535	165	107
鈴鹿市	6476	2048	2012	明和町	937	216	211
名張市	3352	895	1068	大台町	388	89	60
尾鷲市	941	169	129	玉城町	573	167	121
亀山市	1579	472	473	度会町	383	65	63
鳥羽市	982	187	139	大紀町	501	80	72
熊野市	906	219	167	南伊勢町	893	144	96
いなべ市	1407	409	380	紀北町	719	177	119
志摩市	2166	389	506	御浜町	378	99	65
伊賀市	3862	997	891	紀宝町	431	116	99
木曽岬町	199	53	50	その他	306		
				県合計	65536	17682	19998

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
（お問い合わせ）電話（フリーダイヤル）
0120-263-323

令和7年度 三重県障がい者芸術文化祭 ステージ発表

三重県内の障がいのある方がステージ上で
歌や楽器、演劇、ダンス、パフォーマンスを披露します！
表現への一途な想いやこだわり、ユニークな個性、元気やエネルギーを
ぜひ会場で感じてください。

日時：令和8年 1月31日(土) 9時30分～16時

会場：ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿（鈴鹿市文化会館）けやきホール

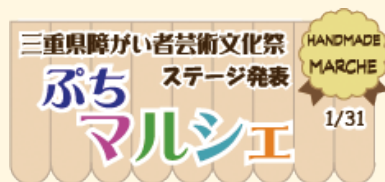
入場：無料（どなたでもご入場いただけます）

内容：20組が出場します。（大正琴、リコーダー、ピアノ、二胡、ギターなどの
楽器演奏、バンド演奏、様々なダンス、合唱やトーク、演劇、けん玉・
マジックなどのパフォーマンスと盛りだくさんの内容です！）



★文化で交流しよう！企画

5つのステージを見て、感想
を書いてくれた観覧者さんに
クッキー（障がい福祉に関
わる事業所製品）をプレゼント！
出演者さんに思いを伝えてみませんか？
ご参加をお待ちしています。



場所：けやきホールのホワイエ
障がい福祉に関わる事業所が、
軽食・スイーツ・雑貨を販売します！

日本遺産「石見神楽（桑の木神楽会）」

みえアールブリュット 2026
連携企画

みえアールブリュット 2026

本事業は「2025 大阪・関西万博 文化芸術ユニバーサル・
ツーリズムプロジェクトと連携・協働して実施しています。

日時：2026年 2月22日(日) 11:00～12:00

場所：志摩市阿児アリーナ ベイホール



島根県の社会福祉法人いわみ福祉会の余暇活動から
生まれた、障害者が中心となって舞う郷土芸能・石
見神楽。艶やかな衣装と迫力ある舞が織りなすステー
ジは、伝統継承の新たな形と自己表現の可能性を鮮
烈に提示し、観る者の心を揺さぶります。

桑の木神楽会 （社会福祉法人いわみ福祉会）

桑の木神楽会は、昭和 60 年に桑の木園の利用
者と職員で結成された石見神楽の団体。国内外で
公演を行い、2017 年にフランス・ナント市で開催さ
れた障害者の文化芸術国際交流事業に参加し、代
表演目「大蛇」の公演を成功させました。2018 年
には長年の取り組みが評価され、障がい者の生涯
学習支援活動の文部科学大臣表彰を受けました。
今後も共に楽しむ活動を続けます。

〈2025 大阪・関西万博 文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト〉

主 催 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、独立行政法人
日本芸術文化振興会、文化庁

協 力 障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク

連携・協働 障がい者の芸術文化活動推進知事連盟



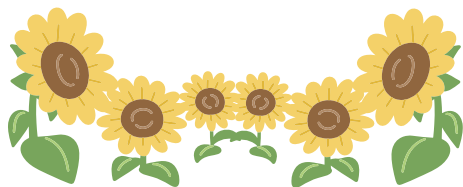
◀日本博 2.0
公式サイト

受賞おめでとうございます

●第43回東海テレビひまわり賞

にしむら まもる
西村 主（大紀町）

高校2年生のとき、自宅作業中の爆発事故で左手を負傷し、左手関節部を欠損した。そのことをきっかけに「誰もが安心して暮らせる地域づくり」の力になるべく、それまでと変わらず人とのつながりを大切にしながら過ごし、多くの人脈を得る。昭和52年に紀勢町身体障害者福祉会会長に就任し、現在も大紀町障害者福祉会会長を務めている。三重県障害者団体連合会の行事（カラオケ、グラウンドゴルフ、ボウリング等）に積極的に参加し協力するほか、町や郡の行事に対しても障がいのある方に率先して呼びかけて共に参加し、笑顔の輪を広げている。



●三重県地域スポーツ推進表彰

○地域スポーツ推進功労者

はなもと のぶ え
花本 伸江（三重県パラスポーツ指導者協議会）

○地域スポーツ推進優良団体

み え けんしょう しゃたつきゅうきょうかい
三重県障がい者卓球協会

●第40回記念 障害者による書道・写真全国コンテスト

【写真部門 フリーの部】 金賞

たなか まい
田中 真衣

「春爛漫 にゃんにゃん咲き誇る。今日もご飯待ち」

【書道部門】 銀賞

つ げ ひで あき
柘植秀明「地平線彼方」

【書道部門】 銅賞

ふたむら み ほ
二村 美帆「いぬ」

か とう やよい
加藤 弥生「天空」



第71回

三重県身体障害者福祉大会会長表彰

1. 自立更生者

かわ うち こ
河 内 とみ子（菰野町）
つち や ゆたか
土 屋 豊（鈴鹿市）
か とう ひで はる
加 藤 秀 春（鈴鹿市）

2. 団体育成功労者

わし の てる お
鷺 野 照 雄（桑名市）
こ にし あけ み
小 西 明 美（桑名市）
二 い せ い ぞう
井 清 三（いなべ市）
なか むら くに お
中 村 邦 夫（多気町）
おお いし まさ
大 石 正 夫（大台町）
小 竹 晃 平（鳥羽市）
ます なが ひで み
増 永 秀 美（伊賀市）
ふじ た み よ
藤 田 美代子（伊賀市）
野 の ゆき こ
崎 由紀子（紀宝町）

3. 奉仕活動功労者

ひら い き よ の
平 井 貴代乃（鈴鹿市）【音訳グループ鈴の音】
う さ み
宇佐美 やよい（四日市市）【四日市録音奉仕の会】
いな いし くに こ
稲 石 邦 子（東員町）【日赤点訳奉仕団】



「ジパング倶楽部」 特別会員様へのお知らせ

令和8年 **3月14日(土)**より
割引適用条件が変更になります！

JR グループ発表により令和8年3月13日に往復乗車券及び連続乗車券の販売が終了となることに伴い、3月14日以降にご購入される割引切符の割引条件が変更となりますので、ご注意ください。

【現在の割引適用条件】

JR 線を片道・往復・連続で
201キロ以上ご利用の場合



【変更後の割引適用条件】

JR 線を片道で 101キロ以上ご利用の場合

■その他の割引条件に変更はございません。

■割引適用条件変更後も、現在お持ちの会員手帳の有効期限までは、そのままご使用いただけます。

■お申込み・お問い合わせ

公益社団法人三重県障害者団体連合会

電話：059-232-6803

FAX：059-231-7182

「ジパング倶楽部について」とお伝えください。